

平成28年度 第2回学校評議員会記録

1 日 時 平成29年2月 7日 (火) 15:00～16:00

2 場 所 宮古高等学校小会議室

3 参加者 学校評議員 4名
校長・事務長
(全日制) 副校長・総務主任・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事
(定時制) 副校長・教務主任 計13名

4 記 録 (進行 馬場副校長)

- (1) 開会のことば (馬場副校長)
- (2) 自己紹介 (省略)
- (3) 校長挨拶 (本年度の学校運営について)

日頃より本校教育活動に対するご理解とご協力を頂いていることについて、各学校評議員の方々への感謝の意が述べられた後、本年度の学校運営の説明があった。年度末となり、3年生はセンター試験後、大学前期試験に向けて鋭意奮闘中である。こうした中、本校では4年連続で岩手医科大学医学部に合格者(1名)を出しており、就職では例年より公務員希望が多く、早く地域に貢献したいという気持ちの表れも感じられる。

また、今年度は岩手国体が開催され、本校では宮古会場となったヨット、レスリング競技等において、補助員として生徒一人ひとりが一所懸命に頑張り、岩手国体成功に導いてくれた。こうした状況において、今後ますます学校教育の重要性が増すことになり、各学校評議員の方々のお考えも十分に踏まえながら、本校の学校教育に活かすべく皆様の忌憚のないご意見を頂きたい旨が述べられた。

- (4) 学校概況説明 (全日制副校長)

資料のとおり

その他：進路関係の資料を2/7現在の数値に訂正しての説明(進学の国公立大学(推薦及びAO入試の合格状況)23名→29名(昨年25名)、私立大学30名→37名(昨年15名)、短期大学2名→5名、専門学校17名→24名)

就職(民間・公務員)は変更(訂正)なし

部活動関係の資料では、各部の活躍が目覚しいところではあるが、全国大会(インターハイ・国民体育大会・NHK杯全国放送コンテスト、全国高等学校文芸コンクール・全国学生防災書道展等)関係の資料となっていることの説明で、運動部はヨット部、ボート部、ラグビー部、バスケットボール部、文化部は放送部、文芸部、書道部の活動状況が説明された。

学校評価資料については総務課より説明があり、7～9割以上の高い回答率のもと、生徒・保護者・教職員とも共通して家庭学習時間が不十分と感じていて、今年度は1学年が48%で前年度比マイナスの幅が大きい(-4%)こと、「平日や週末の課題が計画的・適切に指示されている」の項目が最も低く(70%)前年度比マイナスの幅が大きい(-18%)こと、学校に対する評価は概ね肯定的で高い評価ではあるが、中堅学年となる2学年では毎年評価度が低くなる傾向にあること、保護者は「学校の教育目標をよく知っている」の

項目の数値が低めに出ている（1学年60%、2学年59%、3学年55%）こと、教職員は100%が「行事を通し充実した学校生活を送っている」と感じているが、生徒の家庭における勉強時間は十分ではないと感じていることが示された。

(5) 学校概況説明（定時制副校長）

資料のとおり

その他：進路については、卒業予定8名（4年生7名、3年生1名）中、就職は2名内定（他一般求人やアルバイト等）、進学は2名（専門学校）となり、部活動においても、全国定時制通信制体育大会に剣道男子が個人で出場、4回戦進出（ベスト16）となった。しかし、本人はベスト8を目指していたこともあり、ベスト16では満足せず悔しさも滲ませていたこと等、生徒たちの活躍が目立ったことが説明された。学校評価については、分母集団20名の評価において、新たに追加した項目の「食育」（適切に食に関する指導や情報提供を行っているか）の部分がマイナス評価傾向にあること等が説明され、こうした部分をしっかり精査しながら改善に取り組む方向性も示された。

[A 評議員]

推薦・AO等による大学進学（一般受験以外の意）の合格者の割合・状況についてご説明頂きたい。

[全日制進路]

推薦等は例年100名前後が出願している。今年は29名が合格し、例年は30～40名程度が合格する状況にある。（昨年は三十数名の合格）今年の推薦は三割程度の合格率とな

っている。また、私立大学には指定校推薦制度もあり、そのような制度も利用しながら立命館大学や早稲田大学等、難関大学といわれる大学等へも合格（指定校推薦）させていきたい。岩手医科大学医学部へも地域枠ではあるが1名の合格を出している。国公立大学より私立大学の方が合格成功率はよい傾向となっている。

[A 評議員]

宮古高校に進学した本校（宮古第一中学校）卒業生が、部活動でもよく本校（宮古第一中学校）に来るが、挨拶もしっかりしていて高校生活が充実している感じを受ける。生徒の多くが大学進学を希望する中、宮古高校に進学して下位の成績でいるよりも、他校で上位の成績にいる方が、推薦等大学進学しやすいと思っている生徒がいる。そうした状況では進学校・普通校、商業・工業・水産等専門高校の区別がなくなりつつあるのかなという感じもする。

[B 評議員]

懸垂幕を見ても、宮古高校の部活動の活躍が素晴らしいことがわかる。自分の行きたい大学に進学するために、仙台で一年浪人してまでも目標達成した生徒のことを知っている。宮古高校は勉強も部活動も一生懸命頑張る学校なのだと応援している。しかし、宮古高校は受験しても落とさない（学検点数が低くても不合格とならない）から大丈夫という噂が広まっていることが心配である。

[C 評議員]

様々な数値をみて、ラグビー部、野球部等親も子も大変だなと感じる。今年こそ花園や甲子園（全国大会出場）に行つて欲しいと応援している。個人的には音楽をやっているの

で音楽（コンサート等）でふれあいをもっているし、宮古高校には感謝している。2/14のバレンタインデーが近くなるが、そうした時期には特にも高校生の男女カップルが、横山八幡宮敷地内で不良交友等に及ぶことが懸念される。他校生徒も含めて、そのような苦情が横山八幡宮へ寄せられるので、何かの機会に注意喚起して頂きたい。中学生

はないが、高校生が問題となることが多い。健全な付き合い方を指導して欲しい。以前は警察に補導されるケースもあったので、大事に至らないうちにと感じている。

[D 評議員]

伝えることの難しさを感じる。親子でも話す機会が少なくなっており、メールやパソコン等に夢中になり、家族のコミュニケーション不足を心配している。先ほどの学校評価の説明の中にあつた、進路情報等提供のお話にも通じるものがある気がする。父兄の話を伝えるアンケートみたいなものもあつてもよいと感じる。時代が「話す（会話する）」ということについて、急激に変化してきていると思う。

[全日生徒]

月に一回、宮古市内の中学校・高校の生徒指導連絡協議会と少年センター（補導員含む）で宮古市内パトロール（巡回指導）を実施している。必要に応じて全校生徒に指導も行っている。以前は苦情が学校に寄せられたことがあり、その都度宮古高校独自で巡回指導も実施していた。今後も適宜指導徹底を図りたい。

[校長]

宮古高校は受験の際点数が低くても落とさない（不合格にならない）の噂について、点を取れなくても全員が合格する訳ではない。定員割れしていても不合格になることもあるので、機会があれば誤解のないようにその辺も伝えて欲しい。宮古高校で成績が下位にいるよりも他校で上位にある方が推薦で大学進学できるという噂についても、難関大学の指定校は宮古高校だからくるのだという側面がある。勉学の目的意識をしっかりとって頑張りたいという意欲が何よりも大切である。楽をしようとかではなく、努力して勉強を頑張らないと何処に行っても同じであると感じる。

(6) その他（特になし）

最後に校長から各学校評議員の方々への感謝のことばが述べられた。

今年度をもって学校評議員を終えられるの方々に対するお礼と共に、他の学校評議員の方々へは、来年度も引き続きお願いしたい旨が伝えられ、この回に限らずいつでも遠慮なく、本校教育活動に関するご意見を、本校窓口（副校長）へお寄せ頂きたい旨が述べられ第2回学校評議員会を閉会した。

(7) 閉会のことば（馬場副校長）